



買い物袋について考えましょう! 携帯マイバッグを 使いませんか

レジ袋は使い捨ての象徴的存在であり、スーパーやコンビニなどで、無料で配布されています。マイバッグを利用することで、ごみとなるレジ袋を断って、更なるごみ減量を目指していきましょう。

このマイバッグは、ごみ減量のキーワードである4Rの推進をデザインして作りました。身の回りの生活で、まず自分のことから始めてみましょう。

- Refuse(リフューズ)発生拒否: マイバッグを持参して、レジ袋を断ろう!
- Reduce(リデュース)発生抑制: 詰め替え商品を利用しよう!
- Reuse(リユース)再利用: 壊れたものは修理して使おう!
- Recycle(リサイクル)再利用: 資源とごみを正しく分別しよう!



1枚200円。環境課、市民祭などで販売します。

考えよう!

地球のためにできること

ごみを減らす生活を進めるために

かつて私たちは、あまりごみを出さない暮らしをしていました。限られたものを大切に使い、なるべく捨てることなく、「生かして使う」「直して使う」という知恵を培ってきました。また、「もったいない」という言葉もごく当たり前に使っていました。しかし、今や私たちの周りには



モノがあふれかえっています。大量生産と使い捨てのライフスタイルが私たちのモノに対する意識をすっかり変えてしまい、それとともにごみ量も増えて、地球環境を悪化させています。

ごみの歴史から昔の人の知恵を学ぼう かつては、ごみを出さずに活用していた

稲城のごみ処理の歴史

ごみの値段は時代とともに

昭和39年に稲城町はごみ収集を始めました。ごみ焼却炉が完成した当時は、ごみ処理は無料でしたが、平成5年には粗大ごみ収集が有料となり、次いで平成6年に事業系ごみ、さらに平成16年には家庭ごみが有料となりました。ごみ処理手数料の考えは時代とともに変わってきています。

クリーンセンター多摩川改修工事

平成10年、クリーンセンター多摩川の焼却炉が改修され、安全で効率的なごみ処理の清掃施設が完成しました。ごみを燃料ととらえ、焼却熱で発電を行い、また、高温水を市立病院に送り、冷暖房に利用できるようになりました。

エコセメント化で 稲城のごみは埋め立てゼロに

今年7月、日の出町の最終処分場でごみの焼却灰を主原料にしてセメントを作る、「エコセメント事業」が開始されました。稲城市から出たごみは、クリーンセンター多摩川で焼却し、最終的に残った飛灰はエコセメント化されるため、埋め立て処理を行っていません。しかし、地球環境のためにごみの減量は取り組まなければならない重要な課題です。



エコセメント化施設

縄文時代
家から離れた場所に貝塚(ごみ捨て場)を作った。

奈良~戦国時代
町の清掃に関するお触れ書き

江戸時代
ごみ・リサイクル業者の誕生
ごみの投棄と焼却を禁止

明治時代
汚物掃除法(明治33年制定)
自治体でごみ処理
伝染病(赤痢)流行
公衆衛生の確立

戦後
清掃法(昭和29年制定)=汚物の処理
ごみを捨てずに生かす文化

高度成長期
廃棄物処理法(昭和45年制定)=公害対策(水俣病など公害病認定)
ごみ戦争

平成
リサイクル各法制定
地球環境の時代

奈良時代は水銀公害で短くなった?

奈良の都の平城京が、平安京に比べて短かった理由のひとつに水銀公害の問題があったと言われていています。奈良時代は仏教文化が開花した時代で、多くの仏像が作られました。当時の仏像は青銅製でしたが、表面には金を水銀に溶かし込んで火であぶる金メッキ処理で輝かせていたそうです。しかし、蒸発した水銀が大気に広がり、水銀汚染による疫病がはやりだし、遷都しなければならなくなったということです。

江戸時代は高度なリサイクル社会だった

江戸時代は、民間の力を活用して、ごみ発生のコントロールを進めた社会でもありました。1662年江戸町奉行に「芥改役」というごみ専門の部署を作り、ごみの投棄と焼却を禁止するお触れを出しています。物が少ない江戸時代は、高度なリサイクル社会が発達して、ごみ・リサイクル業者が誕生した時代でもありました。農作物の肥料として、ふん尿が売買されていて、特に大名家からのふん尿は、栄養価の高い肥料として高く買われていたといわれています。また、古着屋、古紙屋、古鉄屋などが繁盛し、酒だるやとっくりの使いまわしが行われ、古着も着まわしや継ぎはぎなどで再利用されていました。



ワンポイント

昔の人の知恵

窓ガラスは曇りの日に、水に濡らした古新聞紙でふいてから、乾いた古新聞紙で磨くときれいになります。新聞紙のインクの油がガラスの汚れに効くそうです。床などにマジックインキの汚れが付いたときは、みかんの皮で擦ると落ちるそうです。柑橘系の皮にあるリモネンという成分が、インク汚れに効くということです。

お答えします ごみの出し方

ごみQ&A 皆さんから寄せられる主な問い合わせを紹介します。

Q1 家の前に出した雑誌がまだ回収されていないのですが。

水曜日の昼頃に多い問い合わせです。古紙は、ダンボール・新聞・ざつ紙(雑誌など)に分別して、それぞれ束ねて出されています。家庭で分別したものが回収段階で混ざらないように、違う収集車で回収しています。このため、雑誌の束を取り残しているように見える場合がありますが、回収しますので心配ありません。



Q2 シーツと毛布は、古布として出せますか。

シーツ、毛布、カーテンなどは古布ではなく、燃えるごみとして出してください。古布として回収される古着やタオルなどは、そのまま海外などでリユース(再使用)されています。そのため、洋服などは、ポタンやジッパーなどを取り除かず、そのままの状態を出してください。



Q3 雨が降っても、古紙・古布は回収してくれますか。

雨が降っていても、古紙・古布は回収します。取り残しの恐れが出ますので、古紙はビニールなどで雨除けをする必要はありません。ただし、古布は雨に濡れると再使用できなくなるので、できれば次回に出してください。なお、古布は、透明または半透明の袋に入れて出してください。

Q4 粗大ごみを捨てたいのですが。

次の条件のいずれかに該当すれば、粗大ごみです。
1辺50cm以上 重さ5kg以上 3辺の和が100cm以上
粗大ごみの申し込みは、まず、受付収集センターに電話(☎370-5505番)で予約してください。氏名、品目などをお聞きしたうえで、収集日と処理手数料をお答えします。収集日までに、取扱店で粗大ごみ処理券を購入してください。



Q5 エアコンを処分したいのですが。

家電4品目である、エアコン、ブラウン管式テレビ、冷蔵庫、洗濯機は、法律によりリサイクルが義務付けられているため、粗大ごみとして取り扱うことができません。小売店が収集運搬業者へ連絡のうえ、処分してください。処分には所定のリサイクル料金と運搬料金が必要です。

Q6 庭木を剪定したので処分したいのですが。

剪定枝や落ち葉は、ひもで縛った場合は2束までを、透明または半透明の袋に入れた場合は2袋までを無料で収集します。



また、剪定枝をチップ化して堆肥などにリサイクルするチップ化事業も利用してください。日程や会場は、広報、市ホームページなどでお知らせしています。

Q7 スプレー缶を処分したいのですが。

昭和63年からオゾン層保護法でフロンガスの使用が禁止されました。これにより、殺虫剤、カセットコンロ、スプレー缶には、フロンガスの代わりに液化石油ガスが注入されるようになりました。このガスは揮発性が高いため、ごみと一緒に収集車で回収すると爆発する恐れがあります。



処分するときは、必ず使い切ってから透明または半透明の袋に入れ、有害物として出してください。なお、爆発などの危険性があるので、自分で缶に穴を空けるのはやめてください。

Q8 引っ越して間がないので、びん・缶などの出し方が分からない。

びん・缶・ペットボトルなどの資源物は、戸別回収ではなく、資源回収ステーションに出してください。週1回ある回収日の前日からステーションにカゴを置きますので、袋には入れずに出してください。

資源物は不純物が混ざるとリサイクルが難しいので、中身を空にして水洗いするとともに、ラベルをはがして出してください。



Q9 蛍光灯の出し方を知りたい。

蛍光灯、電池、水銀体温計には水銀が使用されているため、ごみとして焼却すると水銀が大気へ放出され、大変有害です。これらは有害物として、月1回無料で戸別回収しています。

また、乾電池は市役所や文化センターに設置している回収ボックスにも出せます。

Q10 ビデオテープは、燃えるごみか燃えないごみか。

クリーンセンター多摩川に搬入されているごみは、全て焼却処理をしています。硬質プラスチックは、一度破砕処理してから焼却するため、燃えないごみとしていますが、ビデオテープはテープ部分が破砕機に絡まる恐れがあるため、燃えるごみとして出してください。



Q11 燃えないごみの回収は、月2回では足りない。

ごみ減量に向けて、リサイクルに重点を置いた分別収集方式を採用してから10年が経過しました。燃えるごみを週2回、燃えないごみを月2回収集する体制にするとともに、古紙・古布・有害物・金属を分別収集し、びん・缶・ペットボトルを週1回に増やして回収しています。家庭での分別の徹底によるごみ減量にご協力ください。

Q12 集団回収団体を教えてください。

資源物は市の収集のほか、地域の団体による資源回収があり、子供会やPTAなどが回収しています(下表参照)。活動収益は地域に還元されるので、ぜひ利用してください。回収日や品目は、各団体で異なりますので、問い合わせてください。



稲城市青少年育成矢野口地区委員会	シーアイマンション京王みょうりランド自治会	平尾わかば幼稚園父母の会	長峰社の一番街自治会
青少年育成大丸第二ブロック	大丸1地区子ども会	女性防火クラブ押立地区	長峰社の二番街子供会
どんぐりスキー教室	第四ブロック子供会	青少年育成押立地区委員会	長峰社の三番街自治会
東京稲城少年少女合唱団	稲城第一中学校	稲城第四中学校	若葉台ワルツの団地管理組合
大正琴ささの会	百村子供会育成会	ビューパレー向陽台土曜会	若葉台ワズワスの丘管理組合
すくすくの会	稲城第二小学校 PTA	ファインヒル向陽台子供会	とんぼ子供会
大丸女性防火クラブ	稲城第二中学校 PTA	みはらしの家子供会	ビューコート若葉台自治会
都営稲城第二アパート自治会	坂浜サッカークラブ	ビュータワーズ地区班	ビューステージ向陽台団地管理組合
大丸婦人会	平尾小学校 PTA	長峰社の五番街子ども会	稲城第二中学校生徒会
稲城市手をつなぐ親の会	資源再利用ミセスの会	リベレ向陽台子供会	長峰ローレルヒルズ自治会
稲城ハイコーポ自治会	平尾住宅自治会	リベレ校外委員会	若葉台パークヒルズ自治会
若葉台自治会	平尾地区自治会協議会	ビスタセーレ向陽台団地管理組合	百村生活会議
都営稲城アパート自治会	平尾分譲住宅自治会	長峰東子供会	多摩ニュータウン長峰二丁目団地
		稲城少年剣道クラブ	

Q13 生ごみ処理機を使ってみたいのですが。

燃えるごみの4割を占める生ごみは、ごみ減量のポイントです。市では市販の電動生ごみ処理機を購入する費用の一部(1万円上限)を助成しています。環境課、平尾・若葉台出張所で申請して承認を受けたうえで、購入してください。申請書は市ホームページから印刷することもできます。



ごみ減量の説明に伺います

市では、ごみの減量について多くの皆さんにご理解をいただくため、宅配講座を実施しています。10人以上集まれば、環境課職員が会場に伺い説明します。

開催希望日の10日前までに、郵送、ファクス(☎378-3310番)またはメールで、グループ名(グループ名がある場合)、代表者氏名・住所・連絡先、開催希望日時(第3希望まで)、参加人数、会場を記入して、環境課ごみ・リサイクル係に申し込んでください。